

## 銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役  
橋本 健一郎

11月のアルミ概況および12月の見通し (3)

## 予想レンジ

LME現物後場買い	2,300-2,500ドル	※
スクラップ	0~+5円(前月最終価格より)	※
為替	135円~140円	円安

(1か月間TTM)

## 【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-4.4%の15万4,391tで7か月連続マイナス。

板類は9万6,116tで-2.4%の6か月連続マイナス。押出類は5万8,275tで-7.5%の10か月連続マイナス。

## 【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は+5.5%の6万5,942tで2か月連続プラス。出荷は+6%の6万6,613tで2か月連続プラス。

## 【輸出】

新地金は-52.8%の102t、二次合金は-33.6%の1,565t、スクラップは+15%の3万4074t、アルミ缶は+20.6%の7,079t。

## 【輸入】

新地金は-15.1%の10万2,486t、二次合金は-19.5%の8万9,102t、スクラップは+88.2%の817t、合金スクラップは-23%の5,564t。

## 【見通し】

## 【自動車】

10月の自動車生産が+36.1%。11月国内販売台数が前年比+1%で3か月連続生産、販売共に増加したが販売は微増。ようやく大幅に生産回復してきたが、販売が同時に伸びるか注視。

## 鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造  
砲金くず・ラジエーターくず等

角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314  
電話 0774-43-6700(代表)世界を結ぶ循環流通サービス  
原料から製品まで

Ogico ORIZANI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

## 株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号  
tel:06-6444-1521-1530  
東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地  
tel:03-5282-4800  
名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号  
tel:052-571-2005  
海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・  
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム  
<http://www.ogico.co.jp>

## 【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-4.4%の15万4,391tで7か月連続マイナス。

## 【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

中国のゼロコロナ策の緩和からの自動車生産の回復により今後、自動車の挽回生産が進行するものと期待される。

- ・アルミ輸出は中国向けや円安を受けてスクラップが増加。
- ・アルミ輸入は内需回復からスクラップが増加。

## 【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫は前月に続き欧米の金融引き締め策からLME価格が2,200-2,400ドルと低位安定。自動車生産は回復基調にあるが住宅着工の低迷から入荷も少なそう。

需要面に関しては中国のゼロコロナ政策の緩和により今後、自動車の挽回生産が進行するものと期待される。

## 【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。①米国の金融政策 ②中国のゼロコロナ対策(ロックダウンなど)の動向

①に関しては、米国に関してパウエル議長が先月30日の講演で早ければ今月の会合で利上げ幅を縮小することを示唆。そのうえでインフレ率は依然高すぎるとして利上げなどの金融引き締めを継続する考えを改めて強調。年内は0.5%の利上げを行うのではないかと。

②に関しては、ゼロコロナ策への反発が全国規模で起こることから上海の制限が解除、また、副首相が保健当局の会議で2日続けて「ゼロコロナ」政策の継続について言及せず、感染対策の適正化をさらに進める考えを示した。中国政府が今後感染対策を緩和するのではないかと。

これらを踏まえた10月のアルミ価格は2,300-2,500ドル(セツル)との予想。

ドル円値は130円~140円(TTM)台を予測。

スクラップ購入価格に関しては、据置から+5円程度と予想している。

(「11月のアルミ概況および12月の見通し」おわり)